

到達目標・学修成果（身につけられる能力）

社会状況の変化とデータサイエンスやAI技術等の基礎を学ぶことで、これらの技術が日常生活や社会における課題を解決するために有効な技術であることを理解する。ただし、これらの技術に伴う危険性と注意すべき点についても理解する。また、初歩的なデータ分析に取り組むことで、データの適切な活用法を獲得する。今後の社会で生き抜くための基本的な考え方を獲得することがねらいであり、以下を到達目標とする。

1. 豊かな「知識」：データサイエンスやAIなどの技術を理解するための基盤となる知識を総合的に身につけている。
2. 知識を活用できる「技能」：データを適切に活用するための基礎的な技能を身につけている。

プログラムの概要

対象学生：全学部・学群生（令和4年度以降入学生）

修了要件：「データサイエンス入門」（2単位）を取得すること

プログラムの特徴

- 数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラムの「導入」「基礎」「心得」に準拠。
- 申込不要（「データサイエンス入門」（2単位）を取得すると、本プログラム修了）。
- メディア授業（ライブ配信+ビデオオンデマンド）として実施することにより、希望学生全員の学修機会を確保（すべての授業回について、オンデマンド配信用動画を準備）。
※令和5年度以降は対面授業でも実施。
- LMS、メール等のオンラインでの質問受付・サポートに加えて、教室等で対面での質問受付・サポートの機会も確保。
- 授業評価アンケート実施により、プログラムの自己点検・評価を行い、適宜、教育プログラムの改善を実施。

令和4年度 プログラム修了者数（287名）

外国語学部 38名、経済学部 86名、文学部 9名、法学部 11名、
国際環境工学部 122名、地域創生学群 21名

イメージ
アップ

令和4年度 データサイエンスのイメージ調査

面白い・やや面白い 受講前**32.5%** → 1回目64.8% → 受講後**79.5%**
好き・やや好き 受講前**15.2%** → 1回目43.9% → 受講後**66.7%**
必要・やや必要 受講前**69.1%** → 1回目92.2% → 受講後**97.5%**

令和4年度 授業評価アンケート

理解度4.50/5点、満足度4.55/5点

体制

